



2026 年 10 月 1 日

三菱 UFJ 銀行、明治安田生命へ契約データベースサービス「MUFG ARK」を提供開始 ～MUFG の契約管理ノウハウを外部金融機関へ展開する初の事例～

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 大澤 正和、以下「三菱 UFJ 銀行」）は、明治安田生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 永島 英器、以下「明治安田生命」）に対し、デリバティブ等の市場性取引に係る契約情報を標準化・データ化し、一元的な閲覧・検索・出力を可能にする契約データベースサービス「MUFG ARK」（以下「本サービス」）の提供を開始しました。本件は、三菱 UFJ 銀行が市場性取引の契約管理業務で培ってきた知見、システム、運用ノウハウを組み合わせた業務基盤を、MUFG グループ外のお客さまにご利用いただく初めての事例です。

デリバティブ等の市場性取引においては、基本契約や担保契約の条件が、担保管理、リスク管理、会計処理、取引条件の確認等、幅広い業務に関係します。近年の市場環境の変化や規制対応・内部管理の高度化を背景に、契約条件を正確かつ効率的に把握し、必要な部署が同一の情報を参照できる体制の重要性が高まっています。

一方、ISDA 基本契約や CSA 等の基本契約書は内容が複雑で、契約主体ごとに条項・選択肢・追加条件が異なるため、契約条件の確認や横比較に相応の時間・専門性を要することがあります。また、契約情報が PDF、Excel、部署ごとの管理資料等に分散している場合、契約条件の把握や社内共有に負荷が生じることがあります。

本サービスは、三菱 UFJ 銀行が市場性取引の契約管理で培ってきた知見をもとに、市場性契約情報を標準化・データ化し、一元的な閲覧・検索・出力等を可能にする契約データベースサービスです。市場性契約管理に必要となる専門人材の育成、契約データベースの構築、業務ノウハウの蓄積を各社が一から行う負担を抑えながら、三菱 UFJ 銀行の業務基盤を活用いただくことが可能となります。また、契約書や管理資料に分散しがちな契約情報を可視化し、複数部署で共通利用できる環境を提供することで、契約管理業務の効率化、業務継続性の向上、リスク管理態勢の高度化を支援します。

明治安田生命は、資産運用に係るリスク管理態勢の高度化に継続的に取り組んでおり、今般、市場性取引に係る契約情報の可視化・一元管理を進める取り組みの一環として、本サービスの利用を開始しました。三菱 UFJ 銀行は、本サービスの提供を通じて、明治安田

生命における契約情報へのアクセス性向上や関連業務における契約条件確認の効率化を支援してまいります。

三菱UFJ銀行は、今後も、市場性取引の契約管理で培った知見・ノウハウを活かし、お客様の契約情報管理の高度化および業務効率化に貢献してまいります。

以上